

当報告書

- 2025年2月15日中央公民館で首記サンバ講座が開催され、その活動記録をまとめたものである。
- 当報告は講座に参加したコー連協南部会員5名の感想と募集用のチラシを元にAIに報告書を作成させた。そして2段階目に参加者のアンケートをAIに加味させ再度報告書を作らせ、最終的にそのAIドラフトの手直しを行ったものである。
- 参加者は10代から80代以上と幅広い年齢層であった。
- 募集は50名であったが、参加者は35名であった。

講座内容:

- 講座はダンス体験を中心に、サンバの魅力を体感できる内容であった。
- 講師によるダンス指導が行われ、参加者は実際に体を動かしサンバを体験した。
- 参加者からは「良い体験ができ楽しかった」という声が多く、ダンス体験は特に好評であった。
- 一方で、「もっとダンスの時間を」という要望もあったものの、途中から離脱する高齢者も出た。
- また、「船橋駅までパレードして帰りたい」という意見もあり、参加者の高揚感が伝わってくる。

今後の課題:

- 音響設備の改善:「声が聞き取りにくい」という意見があり、改善が必要である。
- ステージ配置の工夫:「おどりの手本になる方を前方に」という要望があり、参加者が見やすい配置を検討する必要がある。
- 集客の工夫:集客が定員に満たなかった。広報活動、広報期間など集客方法の改善が必要である。
- 高齢者への配慮:「カツゼツの良い方をお願いします」とか「動きが激しすぎる」という意見があり、高齢者にも配慮した講座づくりが求められる。
- 多様なニーズへの対応:「サークルでサンバも」という意見があり、ダンス経験者やより本格的に学びたい人向けの講座の企画も検討する必要がある。

総括:

- 講座は参加者から高い評価を得て、サンバの魅力を伝えることに成功した。
- 音響やステージ配置の改善、集客の工夫など、課題への対応が不可欠である。
- 参加者の多様なニーズに応えるため、ダンス時間の延長やサンバサークルの設立など、新たな企画も検討すべきである。
- 地域コミュニティとの連携や情報発信を強化することで、サンバ講座を地域に根差した魅力的なイベントとして発展させることができるだろう。